



第1007号

2006年10月1日発行

日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18

編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇10月の代禱・信施奉献先  
▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽教役者緊急援助資金のため▽月島聖ルカ保育園のため▽こどものためのミニストリーの働きのため▽社会事業の日(特定25)

◇堅信受領

9月17日

目白聖公会

▽富田広一▽三本松由利子▽石

井球太(目白)

◆としえの平安

9月19日

小野 康裕 (79)

9月23日

永田 正夫 (79)

聖アンデレ  
聖ルカ

◇秋のバザー1

(10月・数字は開催時間)

今週・来週の予定

10月1日~14日

- 1(日) 聖霊降臨後第17主日  
主教巡回  
渋谷聖ミカエル教会
- 2(月) 幼稚園委員会
- 3(火) 教区企画室
- 4(水) 主教巡回  
聖フランシス・聖エリザベス礼拝堂  
エルサレム教区協働委員会
- 5(木) 教役者待遇調査委員会
- 6(金) 職員会議  
下町G牧師協議会(聖ルカ)
- 8(日) 聖霊降臨後第18主日  
主教巡回  
神田キリスト教会
- 10(火) 常置委員会  
人権委員会(聖バルナバ)
- 13(金) 広報委員会
- 13(金) ~16(月)  
正平協オウルリムの旅

- 8日 聖アグネス(10~14)
- 15日 真光(11~14) 諸聖徒(12~15)
- 22日 聖アンデレ(11半~14)
- 聖テモテ(11半~14半) 聖ヨハネ(12~14半) 聖ペテロ(12~14半) 聖マルコ(12~15)
- 八王子復活(幼稚園合同)(14~16)

▽聖救主教会でボランティア募集 老人ホーム「深川愛の園」のお年寄りのための喫茶店(毎水・金曜13時半~16時半)でコーヒー・紅茶のもてなしと話相手。週一度で可。照会・申込み先||同教会牧師 神崎雄二司祭、電話03(3641)3895。

(この用紙は再生紙を使っています)

私は84才になりました(アルツハイマー)。私は毎日が楽しくて仕方がないので。今濟んだ食事のメニューがとてもおいしくて、嬉しいのに何を食したか忘れていて自分におかしい思いに笑っています。一日を楽しくすごす出発は、大切なことだと思います。どうして物忘ればかりするのでしょうか。一日の始まりは本当に嬉しく楽しいのです。家族に囲まれてすごしている素晴らしい感じがながら全く何もかも忘れていた自分に不思議な思いで一杯なのです。

《恵みに生かされて》

決して忘れない恵み

永島 妙子

みを受けて喜びにあふれ、嬉しい思いで一杯です。お教室での昼食を済ませました。なんとおしかったこと、感謝、感謝。ホエミの中に生かされてなんと幸福なのでしょう。

でも青い空はありません。太陽のない日なのに何故か豊かな思いにつつまれています。神様に見守って頂いているようで、お祈りをして頂くと心がやすらぐのです。うすぐもりの日なのに心の中は明るく豊かな思いで一杯です。

何も覚えていなく、忘れることばかりなのに神様から与えられている恵みに生かされている自分のことは決して忘れていないのです。とても不思議でなりません。私の毎日は神様にお祈りをする事なのです。

(神田キリスト教会信徒)

## 信仰と生活委員会・正義と平和協議会運営委員会合同委員会報告(9月22日)

7月に共催した「憲法講演会(略称)」の振り返りを兼ねて、両委員会が03年に設置されて以来初の合同会議が開かれた。冒頭で終了したばかりの主教会(19日・21日)について植田教区主教から報告があった。共催講演の内容の受け止めやテーマを巡っての取組みについては、両委員会が考える課題、スタンスなどは必ずしも一致したのではないことが浮き彫りになる展開もみられた。しかし正義平和問題を信仰や生活の面と切り離しては学び得ない現実を確認し合い、両委

員会でそれぞれ継続課題とし、向後の合同会議開催を視野に入れることを確認した。後半の時間を両委員会に分かれ、定例会議に当てる。

**信生委**・共催講演報告(委員会便り形式)の発行企画・来年度の宣教活動計画と予算案協議(委員長、宣教主事ですらに最終調整)

**正平協運**・韓国ツアー(オウルリムの旅)10月13日・16日(21人参加)の一部日程変更の確認、参加者事前連絡会開催(9月30日)、報告書の作成計画など・共催講演報告書の信生委発行意向を了承  
・聖公会女性会議の報告(文書または集会形式)の継続協議・次号協議会便りの11月

中旬発行を企画・来年度の活動予算(次回で再協議)・その他

▽聖愛教会秋の講演会「**信仰と生活の息吹**」が、カトリック教会森一弘司教(真生会館理事長)を迎えて行われる。10月15日(日)13時半。入場無料。照会電話03(3416)1819。

▽小金井聖公会で**聖堂奉獻20周年記念講演会**「現代の忘れもの」を開催する。講師は渡辺和子シスター(ノートルダム清心学園理事長)。10月22日(日)13時30分～15時。入場無料。照会電話042(381)3256。

## 【学びと働きから】21

### 世界の聖公会の今(一)

少ない紙面で十分に解説するのは仲々難しいですが、全世界の聖公会に突きつけられているテーマは、同性愛者をどう理解するか、ということ。それにどう答えるかで三八を数える世界のそれぞれ独立管区は、二分されているのが現状です。

すでに一九八〇年代に、アメリカ聖公会では、自分は同性愛者だと公けに明らかにした人が、司祭に按手されています。それ以来、それを教会の在り方として問題視する、主としてアメリカ・アジアの聖公会が声を挙げ始めました。一九九八年のラベス会議(全世界の主教が召

集される会議)では、分科会の結論では、「同性愛者についての見解では一致できなかった」としながら、アフリカ・アジアの主教たちの声に押されて、やや強引に、「同性愛は聖書と相入れない」こと、そして「同性同士の婚姻の祝福は奨励しない」ことが決議されてしまいました。見解の多様性を慎重に記録した分科会の報告を越えて、このような決議がなされてしまったことが、今日の、世界の聖公会の混乱の源となったようです。

現代は、同性愛は、それについての研究の成果として、従来のように「倒錯」とか「罪悪」とは言えない人間の在り方なんだということが明らかになりつつあります。主教植田仁太郎

## 《今、この教会では…》

### 聖マルコ教会

6月初旬、「春のバザー」が開かれました。物販を主とした従来のバザーに、オリエンテーションや演奏会を組み入れたり、全体を三部に分けたりと趣向を凝らし、普段のバザーに負けないものが出来上がったと感じています。しかし、若い世代の力のみで成功を収めたわけでは決してありません。初めは、奇抜な案に不安を打ち明けていた教会の諸先輩方にも徐々に協力して頂けるようになり、やがては我々若輩者を強力に後押し下さったおかげと感謝しています。間近に迫る秋のバザーも、信徒が一丸となって迎えられるように。(ウィリアムズ健)